

胃カメラ洗浄・消毒手順

1. 汚染物飛散防止のために用手にて弱アルカリ洗浄剤：H クリーンを含ませたガーゼでスコープ外側を拭き取る。

2. スコープ内からの汚染物飛散防止のため200mlの洗浄液吸引を行う。

3. 送気、送水を行った後、内視鏡を本体から外す。

4. 鉗子口より注射器を用いてH クリーン30mlを注入する。

5. 鉗子口から注射器を用いて水30mlを注入し洗い流す。

6. 洗浄用シンク内流水下で洗浄ブラシにて鉗子口、吸引口をブラッシング。

吸引ボタン～吸引口、吸引ボタン～鉗子口まできれいになるまでブラッシング。

7. ボタン類、鉗子栓を洗浄液内流水下でブラシ洗浄する。

8. 大量の水道水で十分にすすぐ。

9. 自動洗浄消毒器にて洗浄・消毒・送気・アルコールフラッシュする。

グラタール製剤を使用。 **期限注意40回 or 28日 換気注意**

*接続チューブが外れていないことを確認する。

10. スコープは湿気のないところで吊るして保管する。

ボタン類、鉗子栓は内視鏡から外し保管。

鉗子は感染予防のためディスポーザブルとする。

ベッドサイド、床の分泌物は0.1%次亜塩素酸ナトリウムで拭く。

D(a) : マニュアル消毒 (用手消毒)

【注意】 消毒液は使用前に消毒液製造販売業者が推奨する温度および濃度であることを確認してから使用してください。

1 内視鏡のセッティング

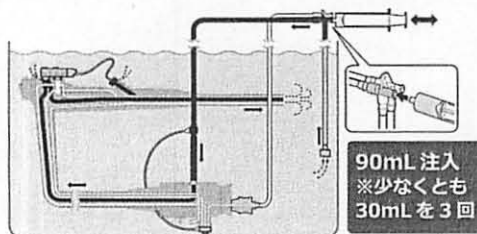
- 消毒液を入れた清潔で大きなフタ付き容器に内視鏡および洗浄アダプターを浸漬し、すべての外表面が消毒液に完全に浸漬していることを確認します。
- 洗浄アダプターのすべての部品を内視鏡に取り付けます。



2 チャンネルへの消毒液注入

● 吸引チャンネル

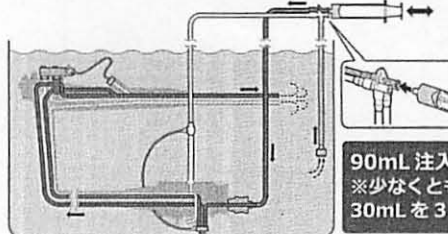
消毒液を先端部、管路プラグおよび鉗子口栓から気泡が出なくなるまで、少なくとも90mL注入します。



90mL 注入
※少なくとも
30mLを3回

● 送気送水チャンネル

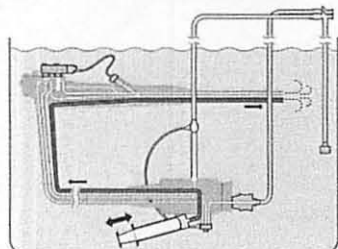
消毒液を先端部および管路プラグから気泡が出なくなるまで、少なくとも90mL注入します。



90mL 注入
※少なくとも
30mLを3回

● 副送水チャンネル

シリンジを内視鏡の副送水口に取り付け、消毒液を少なくとも30mL注入します。

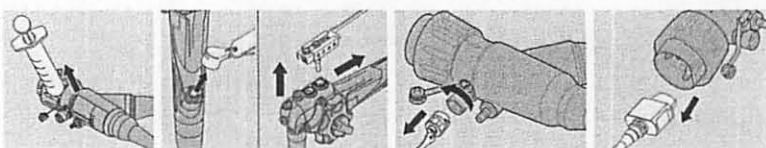


30mL 注入
※少なくとも
30mLを1回

① 消毒液を最後に注入するときは、シリンジのピストンを勢いよく押し送液し、気泡が出ないことを確認します。気泡が出る場合は消毒液の注入をあらためて行います。

3 洗浄アダプターの取り外し

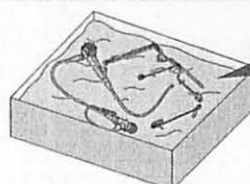
内視鏡および洗浄アダプターを消毒液に浸漬した状態で、シリンジ、洗浄アダプターのすべての部品を、内視鏡から取り外します。



① 内視鏡が消毒液から露出しないように薬液中で洗浄アダプター、シリンジなどを取り外します。

4 消毒液への浸漬

消毒液製造販売業者が推奨する温度、濃度、時間で、消毒液中に内視鏡と洗浄アダプター、付属品のボタンなどを浸漬して消毒します。



付属品を含む内視鏡全体が消毒液へ完全に浸漬されていることを確認します。

※消毒している間は容器のフタをしてください。

● 消毒後

- 1) 内視鏡に洗浄アダプターのすべての部品を取り付け、おもりを消毒液から空気中に取り出します。吸引チャンネルおよび送気送水チャンネルに空気を少なくとも90mL注入します。
- 2) LGコネクターを空気中に取り出し、シリンジを用いて副送水チャンネルに空気を少なくとも30mL注入します。
- 3) 副送水口からシリンジを取り外し、洗浄アダプターを取り付けたまま、内視鏡を消毒液から取り出します。

